

電気給湯機契約口数50万口突破について

当社は、家庭用分野の需要獲得と負荷平準化の観点から電気給湯機の積極的な推奨活動を行なってきましたが、このたび、当社供給エリア内の電気給湯機契約口数が平成17年末で50万口を突破しました。（平成17年12月末現在速報501,995口）

これは、電気給湯機が、安心、クリーン、経済的であること、加えて、追い焚き機能や高圧力型といった機器の性能向上、環境に優しいエコキュートという新しい給湯機の登場などもあって、お客さまから高く評価され、幅広くご支持いただいたことの結果であると考えています。

夜間電力を活用する電気給湯機の普及は、当社の設備利用率の向上、供給コスト・環境負荷の低減につながるため、これまで、度重なる電気料金の引き下げ、料金メニューの多様化、オール電化住宅の推奨活動など、積極的な取り組みを行なってまいりました。その成果が今回の電気給湯機契約口数50万口突破につながったものと考えています。

また、給湯に電気給湯機、キッチンに電気クッキングヒーターを組み合わせたオール電化住宅は累計で18万戸を超え、新設戸建住宅に占めるオール電化住宅の割合も2軒に1軒と順調に普及が進んでいます。

当社は、今回の電気給湯機契約口数50万口突破を一層の拡大へ向けた好機と捉え、今後さらなるオール電化住宅の普及に取り組んでまいりたいと考えています。

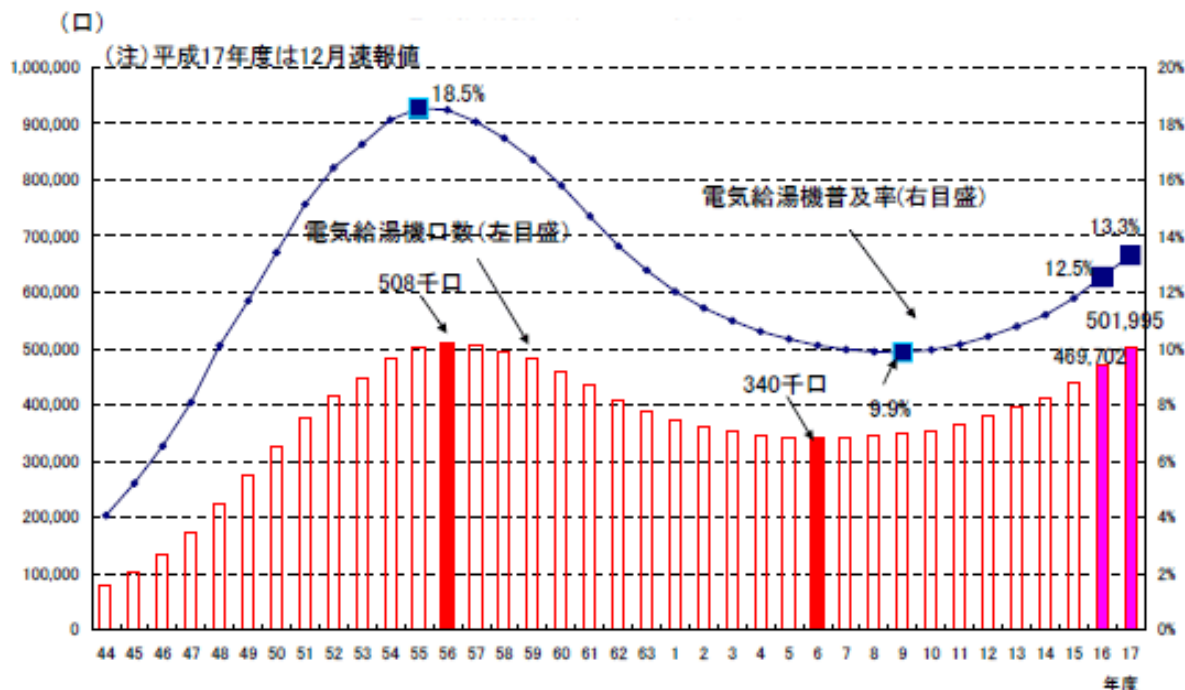
なお、これを機に、電気給湯機をご支持いただいていたお客さまへの感謝の意を表し、例年4月から6月にかけて実施している電化住宅キャンペーンのなかに、電気給湯機契約口数50万口突破を記念した内容を盛り込む予定としています。

以上

添付資料

別紙：電気給湯機口数および普及率の推移他

電気給湯機口数および普及率の推移



*電気給湯機契約口数は、昭和41年に深夜電力契約を設定して以来急速に普及し、昭和56年には約50万8千口でピークに達しましたが、第2次石油ショック後減少に転じました。平成6年には約34万口まで減少しましたが、その後回復を続け、このたび再び50万口に到達しました。

オール電化住宅建設戸数の推移

